

自動運転EVバス運行事業

（報告その二）
一台目について

令和六年二月十六日から市役所、東部区画整理地内、市役所間の一・六kmという短距離での実証実験を運行開始後十一月（三三〇日）で乗車数約四三〇〇人（一日平均約十二・五人）、総走行距離約四八〇〇km。約六三〇〇万円の予算です。一人の乗車経費は約一・五万円でした。

二台目について

令和六年度には、さらなる自動運転EVバス事業の拡大を図ることを目的として、二台目のEVバスを購入しました。



※車両のラッピングは2台とも同じ

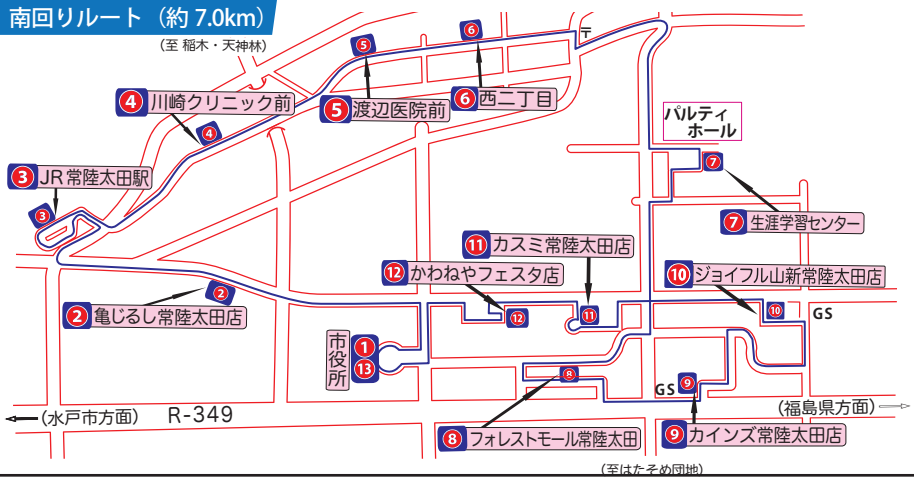
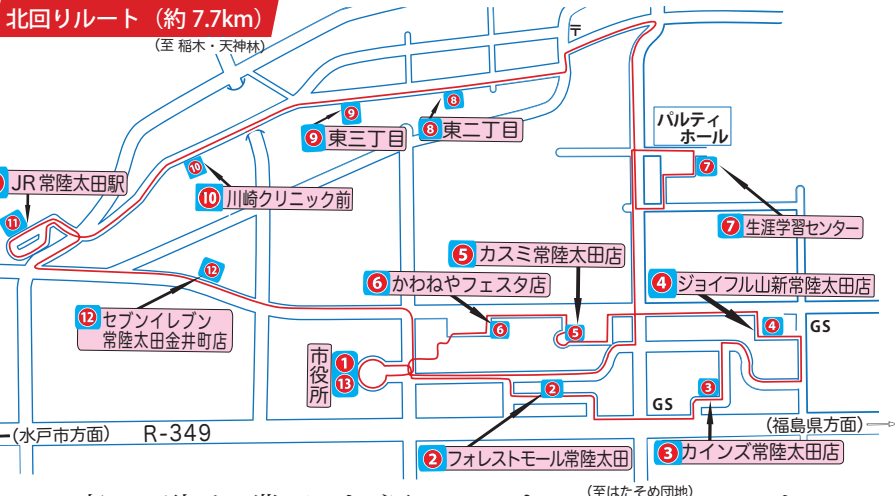
車両購入費は全額国負担ですが、市は事業推進費として約八七〇〇万円を予算化し、東部区画整理地内の西側市道五〇〇区間で、ほぼ自動運転となるレベル4の実証実験を行います。

今後の実走行路線の
拡大構想について

一台目の実証実験から得られたデータを基に課題点を整理し、今後は市役所、JR常陸太田駅、鯨ヶ丘地区、舞鶴橋、新・旧ショッピングゾーン、市役所（七

・七km）を計画区域とし、警察や国・県など関係機関との調整の上、拡大していくとのこと。実績と構想を記載しましたが、経路地域内の住民理解と協力体制の確立のための説明なども重要と考えます。

将来的な拡大の方向性や可能性の検証、及びレベル4対策としての道路整備や停留所設置整備などの事業予算に、市民の税金を使って実証すべき事業かなどの検証もしつかりと対応しなければならぬとも考えます。創刊号にも記載しましたが、EVバス運行事業



に毎年高額予算をかけるのであれば、その予算をタクシーやジャンボタクシーの台数を増やしたり運賃を安くするための補助金に充てたりすること、より少ない予算で今よりも生活しやすい環境を整えることができると思います。財政力が低く、既に財源不足となっている事業も抱える当市の状況を鑑みると、今まで以上に事業内容や歳出面をしっかりと検討し、効率的で無駄のない財政運営をしていかねばならないと考えます。

七〇二〇記念花火大会

花火大会、ありがとうございました。

アニバーサリー事業として実施した花火大会、すばらしいものでした。花火大会実行委員会を始め、市の職員、ボランティア、協賛をいただいた方など、多くの皆様が力を合わせた成果が現れたものと感じます。大会当日はもちろんのこと、数か月前から計画や準備、花火大会後の後始末など、花火大会を支えてくださった全ての方に感謝申し上げます。

この事業計画は、令和六年三月市議会に提案されましたが、私たちは市の財政が厳しくなっていく状況を鑑み、一万発ではなく数を減らしても工夫次第で心に残るような大会にできるのではないかと考え、市議会や会報でお伝えしました。

実際には当初の計画から約三割削減し七〇二〇発となりました。そして、多くの方々の努力、様々な工夫の結果、心に残る花火大会になったことと思います。



公共施設の総合管理計画

施設の整理統合

常陸太田市は、これからの人口動向の状況を踏まえて、持続可能なまちづくりのために必要なサービスが可能な公共施設等の総合管理計画を進めています。

計画期間四〇年間で、
目標五〇〇億円の縮減

施設の財源の見込み額に見合う額となるように、建物系の保有総量の縮減を目指すものです。

現在、本市が保有する建物系施設は、将来の改修費用に年間二七億円が必要であると試算されています。

建物系施設等の可能な財源の見込み額は年間十五億円であるため、年間十二億円の不足が見込まれます。

四〇年間で五百億円のマイナスになるため令和六年三月に総務省財務規定に基づき計画改定をしました。

当市は今後も人口減少傾向が続く、令和四〇年には一八、〇〇〇人になるとの予想です。必然的に市税も減収となることから、類似する公共施設存続について十分な検討を重ね無駄をなくした健全な管理計画が大事です。

それぞれの施設利用者市民のご意見をいただきながら、持続可能なまちづくりを求めてまいります。

令和七年度予算への要望

- 一、安全安心なまちづくり
- (一)防犯カメラの増設
- (二)現状にあった町会支援
- (三)自動運転EVバス計画の明示

二、健康で快適な市民生活の実現

- (一)地域に根ざした高齢者相談施設の設置
- (二)高齢者の外出支援の拡充
- (三)少子化人口減少対策
- (一)じょうづる縁結び隊の活動の充実

(二)こども公園の設置

- 四、活力ある産業づくり
- (一)農業振興・耕作放棄地対策の充実
- (二)観光施設の統合・戦略の見直し

五、その他

- (一)公共施設の統合による諸費用の点検
- (二)技術職・ITに詳しい職員の採用・育成

編集後記

本年は、五月に市長選挙と市議会議員補欠選挙が実施されます。

私たち龍政クラブは、市民の皆様や立候補を予定される方へ、市行政の現況をお知らせし、共に考え、更に一歩進んだ常陸太田市のまちづくりの為に行動して参る所存であります。

何卒、ご理解とご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

龍政クラブ
代表 益子慎哉